

長崎県立大学大学院 地域創生研究科

[修士課程・博士後期課程]

学生募集



地域社会マネジメント専攻

情報工学専攻

人間健康科学専攻

地域創生専攻



～地域と共に成長し、未来を創る～

長崎県立大学
UNIVERSITY OF NAGASAKI

大学院の組織図

Graduate School Organization

地域創生研究科

〔修士課程〕

専攻 (入学定員)	コース[学位]	学びのキーワード	想定される進路
地域社会マネジメント専攻(13名)	ビジネス・マネジメントコース [修士(経営学)]	● 経営管理・経営戦略 ● リスクマネジメント ● 流通・マーケティング ● 会計・税法	企業、事業継承、地域資源を活かした起業、地域課題の解決を目指すNPO、NGOなど
	経済・地域政策コース [修士(経済学)]	● 経済政策 ● 財政・地方財政 ● 公共政策 ● 地域計画 ● 地域経済	企業、地域活性化のコーディネーター、NPO、NGO、公務員など
	メディア社会コース [修士(メディア社会学)]	● メディア ● ネットワーク社会 ● ジャーナリズム ● 比較社会	マスコミ、メディア関連企業、地方自治体の国際部門、国際機関、観光関連産業など
	国境離島文化振興コース [修士(文化振興学)]	● 地域・離島文化 ● 国境離島史 ● 国際法	NPO、NGOなどの諸団体、公務員、大学院博士後期課程進学など
情報工学専攻(25名)	情報セキュリティコース [修士(情報工学)]	● データセキュリティ ● ネットワークセキュリティ ● 暗号数理 ● 情報セキュリティリスク	国内外の情報産業各社及び関連企業、情報セキュリティベンダなど
	人間情報科学コース [修士(情報工学)]	● 空間情報工学 ● ヒューマンインタフェース ● 実世界情報処理 ● 色彩情報	国内外の情報産業各社及び関連企業、コンテンツ産業及び関連企業など
人間健康科学専攻(8名)	看護学実践コース [修士(看護学)]	● 看護管理 ● 母子看護 ● 成人・老年看護 ● 地域看護	病院、行政機関、福祉施設、大学などの教育研究機関など
	公衆衛生看護学コース [修士(公衆衛生看護学)]	● 公衆衛生看護 ● 保険医療福祉行政 ● 健康危機管理 ● ケアシステムマネジメント	行政機関の保健師、民間企業、医療機関、大学などの教育研究機関など
	栄養科学コース [修士(栄養学)]	● 機能形態学 ● 食品機能 ● 臨床栄養学 ● 生活習慣病	食品企業(研究・開発職)、病院、保健所、福祉施設、大学などの教育研究機関、大学院博士後期課程進学など

〔博士後期課程〕

地域創生専攻(3名)

地域社会マネジメント分野 [博士(地域社会マネジメント)]

地域情報工学分野 [博士(情報工学)]

人間栄養健康科学分野 [博士(栄養学)]

地域創生研究科 設置の目的

地域創生研究科においては、地域経済と高度ネットワーク社会の実情を把握し政策立案ができリーダーシップを担える人材、急速に進展をみせている情報科学の知識・技術を修得し高度知識社会の情報基盤を支える人材、看護と栄養に関する連携的な研究をベースに地域住民のQOL向上に貢献できる専門的人材の養成を目指すこととしています。



研究科長メッセージ 研究科長 大塚 一徳

本学は、平成28年4月1日に学部学科再編を行い、令和2年3月に再編後はじめての卒業生を送り出しました。学部学科再編の完成年度を迎え大学院教育への接続の必要性と、既設の研究科におけるこれまでの教育研究実績を踏まえ、全学的に大学院の内容を再構成する検討を行いました。その際には、長崎県を中心とした本学をとりまく社会の変貌や、本学大学院への期待に対し柔軟かつ的確に応えていくことに重点を置いた検討を重ねました。検討結果を踏まえ、令和2年4月1日に新たに大学院地域創生研究科修士課程を開設し、令和4年3月に地域創生研究科修士課程一期生を送り出しました。続いて、より高度な教育研究内容の追求と高度専門職業人の育成及び修士課程との接続を念頭に博士後期課程として地域創生専攻を令和4年4月1日に開設し、令和6年度に博士後期課程地域創生専攻の完成年度を迎え、博士(情報工学)を取得した修了生を送り出しました。

本研究科の修士課程は地域社会マネジメント専攻、情報工学専攻、人間健康科学専攻の3専攻で構成し、専攻ごとにコースを置いています。博士後期課程は地域創生専攻1専攻で、地域社会マネジメント分野、地域情報工学分野、人間栄養健康科学分野の3分野で構成しています。

本研究科への皆様のご入学を心よりお待ちしております。

研究科ニュース

【S-DASHプログラム(Synthesizing Data Science and AI for Security and Human/高度情報専門人材育成プログラム)】

本学は、文科省が高度情報専門人材の確保に向けた大学の取組を支援する「令和7年度 大学・高専機能強化支援事業」に選定されました。本事業では、情報工学専攻(修士課程)の入学定員を15名(2027年度～)、地域情報工学分野(博士後期課程)の入学定員を2名(2029年度～)増やし、データサイエンスやAI科目を取り入れ、全国トップレベルの学修環境を活用した情報セキュリティ教育、人間の理解や人間とコンピュータとの関係性を探求する人間情報科学教育を行います。また、企業との共同研究や実務家教員による実践的教育を推進します。教育・研究環境の高度化のため、データサイエンス・AI科目等の教員採用や、情報セキュリティ演習室・ヒューマンセンシング実験室・生理心理計測実験室の整備、さらに長崎市内にサテライトキャンパスを整備する予定です。

各専攻の情報は以下からご覧ください

地域創生研究科

研究科長：大塚 一徳
研究科長情報



地域社会マネジメント専攻 (修士課程)

専攻ホームページ



地域創生専攻 (博士後期課程)

専攻ホームページ



地域社会マネジメント専攻 兼 地域創生専攻

専攻長：山本 裕
専攻長情報



情報工学専攻(修士課程)

専攻ホームページ



専攻長：平岡 透
専攻長情報



人間健康科学専攻(修士課程)

専攻ホームページ



専攻長：倉橋 拓也
専攻長情報



地域社会マネジメント専攻

「修士課程」

■ 国境離島文化振興コース
■ メディア社会コース
■ 経済・地域政策コース
■ ビジネス・マネジメントコース



地域社会マネジメント専攻の特長

- より高度な経済分析能力が修得できる。
- 地域課題の原因や対処方法について専門的に理解することができる。
- メディア社会コースでは、実務家教員や中国人教員が在籍しているため、実践的に学ぶこともできる。
- 国境離島の文化や経済振興に関する科目が充実している。

※ビジネス・マネジメントコースでは、税理士資格を目指される方のための科目を開講しています。



求める人材

- 経営学、経済学、マスメディア、社会学等の学びを深めたい人
- これまでの経験を理論化してさらに研鑽を深めたい現職者または退職者
- 税理士資格の取得を目指す社会人または学部生
- 海外進出、国内の新規市場創出、新製品開発等を考える経営者
- 地域資源の発掘と有効活用策について調査研究したい人
- 日本企業への就職や、日本で修士号を取得したいと考える外国人留学生
- 国境離島の文化や経済振興に主体的に貢献したいという意欲のある人



専攻PICK UP

★ここでは経済・地域政策コースから2つの研究室をご紹介します。

車相龍教授

地域計画研究室では、応用地理学の視座から、政治・経済・社会・文化にまたがる地域問題の定義・解決に向けて地理学の知見を用いた研究に取り組んでいます。地域性を手がかりに、地方自治体や政府の地方計画にかかわる多様なテーマの修士論文研究が行われてきました。総合科学としての地理学の多岐にわたる知見を望ましい地域社会の構築に応用する学際的・実践的なアプローチを特徴とし、研究の守備範囲が広いことを楽しみにする研究室ともいえます。

田村善弘教授

田村研究室では食料流通、消費者教育について研究しています。生活に身近な内容を取り上げていることが当研究室の特徴です。これまでの修士論文のテーマとして、ジャスミン茶流通と地域振興、中国茶文化と流通、中山間地農業とティーツーリズム、学食における食品ロス削減があります。修士論文の作成では、1年次の前半は修士論文作成の土台となる情報収集を行い、1年次後半からはそれに基づいて修士論文の作成を始めます。2年次には成果の一部を学会の部会で発表して研究のブラッシュアップを行い、修士論文の完成につなげます。



養成する人材

ビジネス・マネジメントコース

企業・事業・職務の分析と、グローバル化・情報化した市場と地域の分析から、課題発見・問題解決方法探索能力を持った人材を養成します。

経済・地域政策コース

経済・政策に関する知識を身につけるとともに、経済的知識・分析方法を用いて地域振興・活性化に活躍できる人材を養成します。

メディア社会コース

メディアによるコミュニケーションが社会に及ぼす影響について理解し、実践的にメディアを活用する能力を備えた人材を養成します。

国境離島文化振興コース

「国境離島」の文化振興に主体的に貢献できる能力と国際協調の精神を有し、国際社会や地域社会に専門性を持って貢献できる人材を養成します。



研究テーマ

- ◆ 経営学、コーポレート・ガバナンス、CSR、地域研究
- ◆ 国際政治、国際関係論、アメリカの政治と外交
- ◆ 経済政策論、社会・経済システム論
- ◆ 政治学、日本政治外交史

授業科目一例（令和8年度）

修士課程共通科目			●地域振興特論 ●マネジメント・リーダーシップ特論
専攻共通科目			●社会課題特論 ●現代政治経済社会特論 ●ヒューマン・リソース・マネジメント特論 ●経済統計特論 ●国際関係特論 ●離島社会情報特論
専門科目	コース ビジネス・ マネジメント	マネジメント系	●ビジネス・マネジメント特論 ●経営管理特論 ●経営組織特論 ●経営戦略特論 ●CSR特論 ●地域マネジメント特論 ●国際経営特論 ●観光経営特論 ●コーポレート・ファイナンス特論 ●リスクマネジメント特論 ●長崎と九州の企業特論 ●中小企業特論 ●地域事業継承・後継者育成特論
		マーケティング系	●マーケティング戦略特論 ●流通システム特論 ●流通史特論 ●マーケティング史特論 ●国際・地域物流特論 ●国際経済特論 ●経営情報特論
		会計学・関係法系	●会計学特論 ●財務会計特論 ●管理会計特論 ●企業税法特論 ●租税法特論 ●会社法特論
	コース 地域経済・ 政策	経済学系	●経済学特論 ●経済政策特論 ●財政学特論 ●計量経済学特論 ●経済史特論 ●金融特論 ●労働経済特論
		地域行政系	●公共政策特論 ●地域計画特論 ●地方行政法特論 ●市民参加特論 ●政策評価特論
		地域政策系	●地域経済分析特論 ●農業経済特論 ●地域環境政策特論 ●交通経済特論 ●地域産業特論 ●社会政策特論
	メディア社会コース		●メディア社会学特論 ●ネットワーク社会特論 ●メディアコミュニケーション特論 ●ジャーナリズム特論 ●国際メディア特論 ●現代社会特論 ●比較社会特論 ●文化社会学特論 ●日中文化社会特論 ●日英比較文化特論 ●観光振興特論
	国境離島文化振興コース		●地域・離島文化特論 ●離島経済文化振興特論 ●国境離島史特論 ●宗教文化特論 ●村社会文化持続特論 ●離島文化ツーリズム開発特論 ●地域食文化特論 ●国際法特論 ●地方自治法特論 ●地域振興関係法規特論 ●離島経済ネットワーク特論 ●地域情報経済特論 ●地域政策特論 ●地域社会学特論 ●記憶の社会学特論
	研究指導科目		●特別研究 ●特定課題研究



情報工学専攻の特長

- 計算機科学、通信工学、サイバー攻撃の系統的追究、情報セキュリティリスクマネジメント、ソフトウェア工学、空間情報工学、実世界情報処理、ヒューマンインタフェース等に亘る多彩な研究領域。
- 国内初の情報セキュリティ学科での学びをさらに深める高度なカリキュラム。
- CGや映像、サウンド等の各種メディアを駆使し、情報をデザインする人間情報科学コースのカリキュラム。
- 課題設定・調査・分析・考察・解決法の提案等の能力を涵養する研究指導。



求める人材

- 情報セキュリティや人間情報科学に関わる問題を自ら発見し、解決する意欲・情熱を持つ人
- 専門分野の変化や革新に対して強い関心を持つ人
- 情報工学を理解するために必要な数学、理科の知識を深めたい人
- 情報科学・認知科学・デザイン学等の複合分野とその周辺分野に関心を持つ人
- 高度な知識・技術を修得し、人材不足といわれる情報セキュリティベンダなど、または、コンテンツ産業などの情報産業関連企業等へ就職を目指す人



専攻PICK UP 学術成果の発信を重視した教育・研究体制

★ 情報工学専攻では、学生による研究成果の社会への発信を重視し、学術論文誌への掲載、国際会議や国内学会での発表を積極的に支援しています。教員による研究指導体制のもと、2020年4月に入学した第1期生以降、学生の研究から多くの学術成果が継続的に生み出され、国内外に向けた発信が活発に行われています。

学術論文誌掲載

著者名	論文タイトル	掲載誌名	巻号	ページ番号	発行年
鍵山嘉史, 辺見一男, 平岡透	画像処理を用いたターゲットへのリーチ動作による注意機能評価システムの開発	産業応用工学学会論文誌	Vol.13, No.2	103-109	2025
平岡透, 田川菜緒, 片山徹也, 中川啓	テクスチャ情報と色情報を用いたボーリングコア画像からの透水係数の推定	写真測量とリモートセンシング	Vol.62, No.2	67-72	2023
Toru Hiraoka, Ryosuke Takaki	Applying Method of Generating Checkered Pattern Images Using Prewitt Filter to RGB-D Images	Journal of Advances in Artificial Life Robotics	Vol.2, No.4	384-387	2022
Mutsuki Deguchi, Masahiko Katoh, Ryotaro Kobayashi	Evaluation of Implementability in a Malware Detection Mechanism Using Processor Information	International Journal of Networking and Computing	Vol.12, No.2	253-269	2022
Toru Hiraoka, Jia-Lin Zhang	Generation of Brightness-Preserving Stripe-Patchwork Images	ICIC Express Letters	Vol.16, No.1	25-31	2022
Meina Tawaki, Keiko Yamamoto, Ichi Kanaya	Cross-Cultural Design of Simplified Facial Expressions	Lecture Notes in Networks and Systems	Vol.285	560-574	2021
Toru Hiraoka, Ryosuke Takaki	Extension of Striped Image Generated by Inverse Line Convergence Index Filter to Video	Journal of Advances in Artificial Life Robotics	Vol.2, No.1	234-238	2021
Ryosuke Takaki, Toru Hiraoka	Generation of Moire-Like Images from RGB-D Images	ICIC Express Letters	Vol.15, No.1	37-42	2021
今村彰雅, 平岡透, 片山徹也, 中川啓	砂礫画像のテクスチャ情報と透水係数の関係分析	土木学会論文集G(環境)	Vol.76, No.5	I_479-I_485	2020

※著者名の太字は学生

受賞

受賞者名	受賞名	授与団体名	対象となった研究・論文・発表名	受賞年
藤本恵莉華	学生研究賞	道後セキュリティシンポジウム2023	TRPGを参考とした個人向けサイバー演習のKPR手法の提案	2023



養成する人材

情報セキュリティコース

情報処理技術者として必要な情報工学の知識や技術をベースに、情報セキュリティ分野で活躍するための最先端の専門知識や専門技術を持ち、高度情報化社会における情報セキュリティの問題を自ら発見し解決する能力を持つ人材を養成します。

学部教育で培った情報科学、セキュリティ技術、数理科学の知識・技術を基礎とし、更に高度な暗号技術、情報セキュリティ、リスクマネジメント分野におけるセキュリティ能力の修得を目標とします。

人間情報科学コース

情報科学を基礎とした人間の理解および人間とコンピューターとの関係の理解を深めるための概念を創造できる人材、ならびに、これらの理解に基づく情報技術を創造できる人材を養成します。

学部教育で培った知識・技術を基礎に、CGアニメーション、Webデザイン、AI、データベース技術等を応用し、感情、色彩、視聴覚情報処理等のより具体的・現実的なアプリケーション開発ならびにコンテンツ制作の知識・技術の修得を目標とします。



研究テーマ

- ◆ PKI、情報セキュリティマネジメント、セキュリティ心理学と経済
- ◆ コンピュータグラフィックス、メディアコンテンツクリエイション

授業科目一例（令和8年度）

修士課程共通科目		●地域振興特論 ●マネジメント・リーダーシップ特論
専門科目	情報セキュリティコース	●データセキュリティ特論 ●生体認証特論 ●暗号数理特論 ●ネットワークセキュリティ特論 ●インターネット基盤セキュリティ特論 ●制御システムセキュリティ特論 ●現代暗号特論 ●サイバーセキュリティオペレーション特論 ●数理科学特論 ●ソフトウェア開発プロセス特論 ●ユーザブルセキュリティ特論
	人間情報科学コース	●空間情報工学特論 ●聴覚情報処理特論 ●ヒューマンインタフェース特論 ●実世界情報処理特論 ●色彩情報特論 ●数理造形表現特論 ●社会情報科学特論 ●視覚メディア工学特論 ●感性情報学特論 ●計算機科学特論 ●データベース特論 ●数理情報特論
研究指導科目		●特別研究

人間健康科学専攻

〔修士課程〕

■ 栄養科学コース
■ 公衆衛生看護学コース
■ 看護学実践コース



人間健康科学専攻の特長

- 社会学系の科目を取り入れており、経済や政策の情勢を学ぶことで知識の幅を広げることができる。
- 多くのOB・OGが病院、行政機関、高等教育機関、研究機関で教育研究者として勤務している。
- 公衆衛生看護学コースでは、講義・演習・実習を通して実践力を獲得し、様々な機関で充実した臨地実習を体験することができる。
- 公衆衛生看護学コースでは、保健師国家試験の受験資格だけでなく、養護教諭二種免許状、第一種衛生管理者免許の資格が取得できる。

※保健師免許取得後、申請が必要です。

※栄養科学コースについては、事前面談に先立って取り組みたい研究内容を専攻長までお知らせください。適任の指導教員をご紹介します。



求める人材

- 高度の専門知識や技術を修得したスペシャリストを目指す人
- 専門分野の修士号の取得を目指す現職の看護師や管理栄養士
- 保健師になることを希望し保健師国家試験の受験資格を得たい人
- 栄養科学の博士課程への進学を希望する人
- 高等教育機関での教育研究者を目指す人



専攻PICK UP

看護学実践コース：直近の修士論文題目

インシデントの特徴を踏まえたインスリン療法に関する教育プログラムの開発
外来パートタイム看護師が看護実践能力を高めたと感じられた経験
看護学生の看護実践能力と情報活用能力の関連性
離島保健師のワーク・エンゲイジメントとバーンアウトの実態及び離職意図との関連 ー 離島と本土の比較 ー
外来看護師の在宅療養支援の実践に関連する要因～役割認知と個人特性の観点から～
患者から看護師へのセクシャルハラスメント発生の未然防止に向けた看護師長の実践 ー 病棟を管理する看護師長を対象として ー

1科目からでも履修できる
聴講生・科目等履修生制
度の詳細は、QRからア
クセスし、ご確認ください。



公衆衛生看護学コース：修了生の声

大学院で得られた学び：自治体、企業、学校など様々な場所で実習を行うことで、乳幼児から高齢者まで全ての対象者のライフステージや健康課題を踏まえた支援を考え実践する力がついたと感じています。また、ディスカッションやプレゼンテーションの機会が多く、自分の意見を分かりやすく相手に伝える力もつきました。これらの学びを活かし、対象者の声を大切にする保健師になりたいと思います。

栄養科学コース：修了生の声

研究だけでなく将来のことも深く考えた2年間：卒業研究を進める中で、「解明されていないことを明らかにする」という研究の面白さに気づき、進学を決めました。大学院では、生活習慣病医療学研究室に所属し、糖代謝異常の改善に効果があると報告される食品をターゲットとした基礎研究を行いました。自発的に動き、学んでいく姿勢があれば、たくさんのことを学び、吸収できる場所です。



養成する人材

看護学実践コース

看護実践領域における教育者・指導者を養成することを目的とし、研究能力の養成とともに、専門性の高い看護実践能力・看護管理能力や教育研究能力を備えたリーダーシップを発揮できる高度専門職を養成します。看護実践能力、教育者としての能力及び看護マネジメント能力の修得を目標としています。

公衆衛生看護学コース

高い倫理観と幅広い知見を持ち、住民及び関係者と協働して健康な地域づくりに寄与する保健師を養成します。看護実践能力、マネジメント能力、組織的解決能力、健康政策課題の考察力、自己研鑽能力の修得を目標とします。修了者は保健師国家試験の受験資格を得られます。

栄養科学コース

栄養科学コースの基礎栄養科学分野では栄養素や食品成分の機能性発現機序や食の安全性のほか、環境保全、脳神経や生殖機能に関連した生理・生化学および公衆衛生学などの多岐にわたる分野の教育研究を行っています。実践栄養科学分野では臨床・公衆栄養、運動科学の分野からの疾患の予防や改善のほか、栄養・食事管理・教育に関わる実践的な知識・技術の修得に力点を置いています。



研究テーマ

- ◆ 看護管理学、臨床看護学、母子看護学、老年看護学 ◆ 保健師活動や健康への支援に関する研究など
- ◆ 院内教育や患者教育等に関すること、看護学生に向けての教育等に関すること、看護職の中でも専門分野に関すること、認知症看護における看護職の困難感に関することなど
- ◆ 2型糖尿病患者の栄養状態、災害食のあり方と食育、食品成分の新規機能性など

授業科目一例（令和8年度）

修士課程共通科目			●地域振興特論 ●マネジメント・リーダーシップ特論
専攻共通科目			●健康科学特論 ●アカデミックスキル特論 ●保健統計演習 ●保健・医療政策特論 ●行政・組織特論 ●最新栄養科学特論
専門科目	看護学共通科目		●看護研究の理論と方法特論 ●看護理論特論 ●ヘルスアセスメント特論 ●医療経済・地域経済特論 ●グローバルヘルス特論 ●メンタルヘルス特論 ●看護倫理特論
	コース 看護学実践	看護学実践系	●看護管理学特論 ●母子看護学特論 ●成人・老年看護学特論 ●地域看護学特論 ●英語論文読解特論 ●看護学実践演習 ●基礎看護学特論 ●看護情報応用特論
	コース 公衆衛生看護学	基礎専門系	●公衆衛生看護学原論Ⅰ ●公衆衛生看護学原論Ⅱ ●活動展開・支援技術特論 ●対象別・健康課題別各論 ●地域診断特論 ●ケアシステムマネジメント特論 ●公衆衛生看護管理特論 ●公衆衛生看護学セミナーⅠ ●健康危機管理特論 ●疫学特論 ●保健統計特論 ●保健医療福祉行政特論 ●公衆衛生看護学基礎実習Ⅰ ●公衆衛生看護学基礎実習Ⅱ ●公衆衛生看護学基礎実習Ⅲ
		発展専門系	●公衆衛生看護学発展実習Ⅰ ●公衆衛生看護学発展実習Ⅱ ●社会調査法特論 ●環境保健特論 ●公衆衛生看護学セミナーⅡ ●公共性特論
	コース 栄養科学	基礎栄養科学系	●細胞生化学特論 ●有機化学特論 ●栄養生理学特論 ●機能形態学特論 ●代謝栄養学特論 ●食品衛生学特論 ●食品機能学特論 ●栄養疫学特論
		実践栄養科学系	●臨床栄養学特論 ●健康体力科学特論 ●調理科学特論 ●栄養管理学特論 ●フードマネジメント特論 ●生活習慣病医療学特論 ●公衆栄養学特論
研究指導科目			●特別研究 ●特定課題研究



求める人材

地域創生専攻

〔博士後期課程〕

- 人間栄養健康科学分野
- 地域情報工学分野
- 地域社会マネジメント分野

地域社会マネジメント分野

- 地域経済、経営、メディアに関する基礎的素養を有し、さらに研究を深めたい人
- 情報工学、栄養健康科学などにも興味があり、持続可能な地域社会を実現するために広い視野に立って他の分野と連携し、地域の課題解決に貢献したい人
- 地域社会の様々な課題を解決するため、地域経済、経営、メディアなどの知識を駆使して研究者、教育者及び高度専門職業人としての立場から地域・社会に貢献することを目指す人

地域情報工学分野

- ヒューマンインタフェース、計算機科学、情報通信に関する基礎的素養を有し、さらに研究を深めたい人
- 地域経済、経営、メディア、栄養健康科学などにも興味があり、先進的情報技術を駆使しながら広い視野に立って他の分野と連携し、地域の課題解決に貢献したい人
- 地域社会の様々な課題を解決するため、先進的情報技術分野あるいはその活用分野における研究者、教育者及び高度専門職業人としての立場から地域・社会に貢献することを目指す人

人間栄養健康科学分野

- 栄養健康科学に関する基礎的素養を有し、さらに研究を深めたい人
- 地域経済、経営、メディア、情報工学などにも興味があり、栄養健康科学の知識と技術を駆使しながら広い視野に立って他の分野と連携し、地域の課題解決に貢献したい人
- 地域社会の様々な課題を解決するために、地域の保健・医療・福祉分野あるいは食品・医薬品関連分野における研究者、教育者及び高度専門職業人としての立場から地域・社会に貢献することを目指す人



専攻PICK UP

★ 本専攻は佐世保と長与の2つのキャンパスで、地域社会マネジメント、地域情報工学、人間栄養健康科学の3つの分野で研究が進められています。現在の多くの学生は実務経験者で、研究内容とその成果を学位論文のテーマからご紹介すると、「経営基本計画に資する人的資本投資の原価情報に関する基礎研究」(地域社会マネジメント分野)、「A Study on Image Embedding Methods Based on Pixel Values」、「長崎市における旅行者およびクルーズ客船利用者のデータ分析に関する研究」、「まちづくり活動におけるエンゲージメントの有効性—小樽市民を対象とした実証的研究—」(以上、地域情報工学分野)、「1型糖尿病における生活習慣および治療内容が体組織・骨密度に及ぼす影響」(人間栄養健康科学分野)などです。今後は、本学の学部と大学院で一貫して学んだ学生の学位取得も期待されます。

授業科目一例(令和8年度)

専攻共通科目		● 地域創生学特講
専門科目	地域社会マネジメント分野	● 地域社会マネジメント特講
	地域情報工学分野	● 情報工学特講
	人間栄養健康科学分野	● 栄養科学特講
研究指導科目		● 特別研究I ● 特別研究II ● 特別研究III

入学者選抜

	夏季募集	冬季募集※3
入学時期	令和8年10月・令和9年4月※2	令和9年4月・令和9年10月※2
事前面談※1	令和8年7月16日(木)～7月29日(水)	令和8年12月21日(月)～令和9年1月8日(金)
出願期間(インターネットによる出願)	令和8年7月22日(水)～7月31日(金)	令和9年1月4日(月)～1月14日(木)
試験日	令和8年9月1日(火)	令和9年1月30日(土)
合格発表日	令和8年9月8日(火)	令和9年2月5日(金)
入学手続期間	令和8年9月9日(水)～9月16日(水)	令和9年2月8日(月)～2月16日(火)

※1 全ての志願者は、出願前に志望分野の担当教員との事前面談(メールを含む)を行う必要があります。詳細については、公式ホームページに掲載する学生募集要項で確認してください。

※2 人間健康科学専攻(修士課程)および人間栄養健康科学分野(博士後期課程)については4月入学のみとします。

※3 夏季募集で、募集人員を満たした専攻(コースおよび分野)については、冬季募集を実施しない場合があります。夏季・冬季募集における募集人員の詳細については、今後、公式ホームページに掲載する学生募集要項で確認してください。

入試情報等の詳細については、
本学ホームページをご確認ください。



<https://sun.ac.jp/examination/graduate/>

出願要件

[修士課程]

- ①学士の学位を有する者、または大学を卒業した者(卒業見込みを含む)
 - ②外国において、学校教育における16年の課程を修了した者(卒業見込みを含む)
 - ③文部科学大臣の定めるところにより、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
 - ④本学大学院の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
- ※公衆衛生看護学コースにおいては、上記の出願要件のほか、日本の看護師免許を有する者(取得見込みを含む)とします。

[博士後期課程]

- ①修士の学位又は専門職学位を授与された者(授与される見込みを含む)
- ②外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者(授与される見込みを含む)
- ③文部科学大臣の定めるところにより、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者
- ④本学大学院の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者

出願資格審査

出願要件④による出願を希望する場合は、出願資格認定申請を行い、出願前に出願資格認定を受けることが必要です。

【出願資格認定申請期間】

(夏季)令和8年6月22日(月)～7月1日(水)

(冬季)令和8年11月26日(木)～12月3日(木)

※詳細については、公式ホームページに掲載する学生募集要項で確認してください。

入学料

県内生 176,500円 県外生 353,000円

※「県内生」とは、以下のいずれかに該当する者をいいます。

- i) 本人又は、その配偶者若しくは一親等の血族が、入学年度の前年の4月1日から引き続き長崎県内に住所を有する者
- ii) (修士課程)長崎県立大学の学部卒業見込の者
(博士後期課程)長崎県立大学大学院の修士課程修了見込の者

選抜区分と試験内容

専攻/コース		一般入試			社会人入試			外国人留学生入試		
		専門	英語	面接	専門	英語	面接	専門	英語	面接
地域社会マネジメント専攻	ビジネス・マネジメント	○	○※1	○	—	—	○	○	—	○
	経済・地域政策	○	○※1	○	—	—	○	○	—	○
	メディア社会	○	—	○	—	—	○	○	—	○
	国境離島文化振興	○	—	○	—	—	○	○	—	○
情報工学専攻	情報セキュリティ	○	—	○	—	—	○	—	—	○
	人間情報科学	○	—	○	—	—	○	—	—	○
人間健康科学専攻	看護学実践	○	○※1,2	○	○	—	○			
	公衆衛生看護学	○	○※2	○	○	○※2	○			
	栄養科学	○	○※1	○	○	○※1	○			
専攻/分野		一般入試			社会人入試			外国人留学生入試		
		専門	英語	面接	専門	英語	面接	専門	英語	面接
地域創生専攻	地域社会マネジメント	—	—	○	—	—	○	—	—	○
	地域情報工学	—	—	○	—	—	○	—	—	○
	人間栄養健康科学	—	—	○	—	—	○	—	—	○

※1 英語の試験は、外部試験のスコアによって免除することができます。英語(該当区分のみ)の試験は、辞書持ち込み可。

※2 英語の試験は、外部試験のスコアから得点を換算します。詳細については、公式ホームページに掲載する学生募集要項で確認してください。

授業料

〔修士課程〕

(円)

在籍形態	1年目		2年目		3年目		4年目		総額
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
標準(2年)	267,900	267,900	267,900	267,900	—	—	—	—	1,071,600
長期履修 3年	178,600	178,600	178,600	178,600	178,600	178,600	—	—	
4年	133,950	133,950	133,950	133,950	133,950	133,950	133,950	133,950	

〔博士後期課程〕

(円)

在籍形態	1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		総額
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
標準(3年)	267,900	267,900	267,900	267,900	267,900	267,900	—	—	—	—	—	—	1,607,400
4年	200,925	200,925	200,925	200,925	200,925	200,925	200,925	200,925	—	—	—	—	
長期履修 5年	160,740	160,740	160,740	160,740	160,740	160,740	160,740	160,740	160,740	160,740	—	—	
6年	133,950	133,950	133,950	133,950	133,950	133,950	133,950	133,950	133,950	133,950	133,950	133,950	

※授業料の金額は、現行の規定によるもので、変更になることがあります。

※授業料減免制度があります。詳しい内容は、下記の各校学生支援課学生グループへお問い合わせください。

奨学金

日本学生支援機構奨学金：貸与月額等(令和8年度実績)

区 分	第一種(無利子)	授業料後払い制度(無利子)		第二種(有利子)
		授業料支援金	生活費奨学金	
修士課程	50,000円または88,000円	年額(最大)535,800円に 保証料相当額を加えた額	0円(利用しない)、20,000円、 40,000円のいずれか	50,000円、80,000円、100,000円、 130,000円、150,000円のいずれか
博士後期課程	80,000円または122,000円			

※授業料後払い制度は修士課程のみ対象です。上記以外にも地方公共団体、財団法人などの奨学金制度があります。

修了要件

〔修士課程〕

大学院に2年以上在籍し、所定の単位(32単位以上)を修得するとともに、必要な研究指導を受け、修士論文等の研究の成果の審査に合格すること。ただし、公衆衛生看護学コースにおいて保健師国家試験受験資格の取得を希望する者は、大学院に2年以上在籍し、所定の単位(63単位以上)を修得するとともに、必要な研究指導を受け、特定の課題についての研究の成果の審査に合格すること。

〔博士後期課程〕

博士後期課程に3年以上在学し、所定の単位(16単位以上)を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

社会人学生等への配慮

長期履修学生制度

標準修業年限(2年もしくは3年)を超えて、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することができ、在職のまま学びやすくなるよう配慮します。納付する授業料の総額は標準修業年限で履修する学生と同額です(上記「授業料」をご確認ください)。申請は、出願時のみで、履修期間短縮は、在学中1回に限り申請できます。

昼夜開講制度

夜間等に履修できるよう配慮します。志望する教員との事前面談の際にご相談ください。 ※公衆衛生看護学コースは対象外

オンライン授業

オンライン授業や研究指導等、学生の状況に応じて、柔軟に対応できる場合もあります。(指導教員に要相談)

その他特長的な履修方法(修士課程)

早期修了制度

本学規定の修了要件の特例「優れた業績を上げた者」として認められた場合、在学期間(通常2年)を短縮し、修了することができます。

※公衆衛生看護学コースは対象外

先取り履修制度(長崎県立大学 学部より進学した者のみ)

大学院授業科目を学部生のうちに履修し、本学大学院に進学後、当該専攻が定めた上限単位数(最大で15単位)の範囲内において、大学院(修士課程)の修了に必要な単位として認定することができます。

お問い合わせについて ※専攻・コース/分野ごとに問い合わせ先が異なります。

地域社会マネジメント専攻

- ビジネス・マネジメントコース
- 経済・地域政策コース

地域創生専攻

- 地域社会マネジメント分野(主に経済学分野)

地域社会マネジメント専攻

- メディア社会コース
- 国境離島文化振興コース

情報工学専攻

人間健康科学専攻

地域創生専攻

- 地域社会マネジメント分野(主に社会学分野)
- 地域情報工学分野
- 人間栄養健康科学分野

佐世保校 学生支援課学生グループ

〒858-8580 長崎県佐世保市川下町123

TEL 0956-47-5703

シーボルト校 学生支援課学生グループ

〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1-1-1

TEL 095-813-5065